

# 平成時代の主な大規模災害について

危機管理室

発生日	災害名	主な事象	人的被害		住家被害		
			死者・行方不明者	負傷者	全壊	半壊	床上浸水
1 平成2年11月17日～平成3年6月3日	雲仙岳噴火(長崎県)	火砕流や火山泥流により、大きな被害。	44	9			-
2 平成5年7月12日	北海道南西沖地震(北海道)	奥尻島の地震・津波とも呼ばれ、津波と火災で大きな被害。	230	323	601	408	221
3 平成5年7月31日～8月7日	平成5年8月豪雨(全国)	8・6水害、鹿児島水害。鹿児島市の土砂災害、洪水害等。	49	64	298	193	9,378
4 平成7年1月17日	平成7年兵庫県南部地震【阪神・淡路大震災】	震度7の激震により、被害は、死者・行方不明者のほか、住宅、高速道路、鉄道やライフライン等、他市にわたっており、被害総額は約10兆円に上る。建物の倒壊、火災の被害が激しく、避難生活者も約317万人に上った。全国から多くのボランティアが支援に集まり、「ボランティア元年」と呼ばれる。	6,437	43,792	104,906	144,274	-
5 平成12年3月31日～平成13年6月28日	有珠山噴火(北海道)	マグマ水蒸気噴火や地殻変動により家屋・道路等被害。事前の緊急火山情報により、人的被害なし。	-	-	119	355	-
6 平成12年6月25日～平成17年3月31日	三宅島噴火及び新島・神津島近海地震(東京都)	山頭噴火の発生、カルデラ形成。火山ガスの大量噴出により、全住民が島外避難を余儀なくされた。	1	15	15	20	-
7 平成16年10月18日～21日	台風第23号(全国)	近畿、四国地方を中心とする全国で河川の増水や土砂災害、決壊等により、多くの人的被害が発生した。	96	555	909	7,776	14,323
8 平成16年10月23日	新潟県中越地震(新潟県)	最大震度7。家屋の倒壊、土砂崩れ等により多くの人的被害、孤立地域、避難者が発生したほか、住宅、ライフライン、交通機関、農地等に多大な被害発生。	68	4,805	3,175	13,810	-
9 平成17年12月～平成18年3月	平成18年豪雪(北陸の日本海側)	屋根の雪下ろし等除雪中の事故や落雪による人的被害が発生。	152	2,145	18	28	12
10 平成19年7月16日	新潟県中越沖地震(新潟県)	最大震度6強。家屋の倒壊等により多くの人的被害が発生。住宅、ライフライン、交通機関のほか、原子力発電所にも被害発生。	15	2,346	1,331	5,710	-
○ 平成19年8月16日	熊谷市、国内最高気温40.9度を観測						
11 平成20年6月14日	岩手・宮城内陸地震(東北、宮城、岩手)	最大震度6強。がけ崩れ等の土砂災害により多くの人的被害が発生。山間部の河川において多くの河川閉塞(天然ダム)が発生。	23	426	30	146	-
12 平成23年3月11日	東北地方太平洋沖地震【東日本大震災】	最大震度7。津波により、岩手県、宮城県及び福島県をはじめとする東日本沿岸部を中心に、津波による甚大な被害が発生。原子力発電所の事故も併発。長周期地震動や液状化現象による被害も発生。被害総額は16兆9千億円(推計)。	22,199	6,230	121,781	280,962	1,628
○	東日本大震災(熊谷市)	市内最大震度は震度5強。瓦の串が落ちるなど、建物損壊のほか、帰宅困難者対策や避難者の受入や支援物資の提供など、被災地に向けた人的・物的な支援を行った。					住家は全壊1件、半壊2件。一部損壊947件。非住家の被害は188件。停電500戸。液状化8か所、ブロック塀の倒壊16か所のほか、帰宅困難者待機場所をさくらめいどに開設し、700人を保護した。計画停電19回。義援金や人的支援(消防38人、一般職24人)、緊急支援物資を送った。一方、被災地からの避難者を受け入れた。
13 平成23年8月30日～9月5日	台風第12号(近畿、四国)	西日本から北日本への記録的な大雨により、特に紀伊半島で多数の河川閉塞が発生した。	98	113	379	3,159	5,500
14 平成23年11月～平成24年3月	大雪等(北日本～西日本の日本海側)	日本海を中心に記録的な大雪に見舞われた。	133	1,990	13	12	3
15 平成24年7月11日～14日	九州北部豪雨(九州)	本州付近に停滞した梅雨前線に向かって湿った空気が流れ込み、特に九州北部では線状降水帯による豪雨に襲われた。	33	34	276	2,306	2,574
16 平成24年11月～平成25年3月	大雪等(北日本～西日本の日本海側)	青森県の酸ヶ岳で積雪深566cmを記録、北日本日本館側を中心に記録的な積雪になった。	104	1,517	5	7	2
○ 平成25年9月16日	熊谷市 竜巻被害	台風第18号が経過し、本市を含む滑川町、行田市、太田市の一帯で2筋の竜巻(F1)が発生、1152件の建物被害等が発生した。					被災した住家は、全壊10件、半壊23件のほか、一部損壊783件に上り、被災した非住家336件と合わせ、1152件が被災。他に園芸用ハウス、農作物等に1071万円などの被害があった。
17 平成25年11月～平成26年3月	大雪等(北日本～関東甲信越地方(特に山梨))	北日本から関東甲信越にかけて、広い範囲で記録的な降雪となり、過去の最深積雪の記録を上回る大雪となった。	95	1,770	28	40	3
18 平成26年8月20日	平成26年8月豪雨(広島土砂災害)	中国地方や九州北部地方を中心に記録的な大雨に見舞われ、広島県で時間120mmの猛烈な雨を観測した。	77	68	179	217	1,096
19 平成26年9月27日	御嶽山噴火(長野県・岐阜県)	南側斜面を噴煙が流れ下り、登山者に多数の被害が発生した。	63	69	0	0	0
○ 平成26年2月14日～15日	熊谷市 大雪被害	最深積雪62cmを記録。340棟に及び農業用ハウスの倒壊をはじめ、農産物、カーポート等に多大な被害が発生した。					救急搬送40件。ハウス倒壊340棟、農作物被害(にんじん、小麦等)1億3900万円などの被害が発生した。
20 平成27年9月9日～11日	関東・東北豪雨(西日本～北日本)	台風第18号や前線の影響で、多数の線状降水帯が発生、記録的な大雨となり、鬼怒川が決壊。栃木県・茨城県・宮城県に大雨特別警報が発表された。	20	82	81	7,090	2,523
21 平成28年4月14日、16日	熊本地震(九州地方)	益城町(熊本県)等で最大震度7の地震が2回発生、家屋等の被害のほか、大規模な山崩れが発生。熊本城の屋根や石垣も被災した。	267	2,804	8,673	34,726	-
22 平成28年8月30日～31日	平成28年台風第10号(岩手県、北海道)	逃げ遅れによる多数の死者うあ甚大な経済損失が発生。岩手県の高齢者グループホームにおいて利用者9名が死亡し、要配慮者利用施設の「避難確保計画」作成義務化の契機となった。	27	15	502	2,372	241
23 平成29年7月5日～6日	九州北部豪雨	梅雨前線や台風第3号の影響により、九州北部地域を中心とした局地的な豪雨。朝倉市・東峰市(福岡県)等で洪水害・土砂災害が発生した。	44	34	326	1,110	222
24 平成30年6月18日	大阪府北部地震	大阪府北部を中心に震度6弱の地震が発生、ブロック塀倒壊による人的被害やエレベーター閉じ込め、ライフラインが不通となった。	6	443	18	517	-
25 平成30年6月28日～7月8日	平成30年7月豪雨【西日本豪雨】	広島県、愛媛県の土砂災害、倉敷市真備町(岡山県)の洪水害など、広域的な被害をもたらした。熊谷市から備蓄品の支援(岐阜県関市)、職員の出遣(岡山県倉敷市)を行った。	232	459	6,758	10,878	8,567
○ 平成30年7月23日	熊谷市、国内最高気温41.1度を観測						7月20日、「ストップ! 熱中症」市長の緊急メッセージを発表。市長自ら、防災行政無線で注意喚起、「命に関わる暑さ」を訴える。
26 平成30年9月6日	北海道胆振東部地震	家屋倒壊や道路損傷のほか、厚真町を中心とした広い範囲で土砂崩れが発生。道内全域停電(ブラックアウト)が発生した。	41	749	415	1,346	-

※ 平成30年度版 防災白書(資料10)を参照、危機管理室で一部データを追加し、作成した。